

(株)農夢(のうむ) 代表取締役社長

四方勝一さん

明日へ向かって駆ける

農業法人の経営者は語る

農業生産法人「(株)農夢」は、2007年10月に府・綾部市・JA全農京都・地元企業などが出資して、全国でも珍しい第三セクター方式で設立された法人だ。「農に夢を持ち、京野菜のみず菜の生産拡大と、担い手の育成に取り組んでいきたい」と代表取締役社長の四方勝一さん(64)は力強く話す。

若手の育成 積極的に



みず菜生産に力を込める四方さん

同市の農林課長として設立に参画。設立後は同法人に出向して管理を担当してきたが、11年3月に定年退職し6月に社長に就任した。

当初はハウス46棟のみず菜の有機栽培と、泥や傷んだ部分を徹底して除去する袋詰めにとこだわり取り組んできた。四方さんは「京みず菜」としてJAJ京

都にのくに通じて出荷しているが、こうした努力の積み重ねで市場からも高い評価をいただいている」と話す。

現在はハウスを58棟に増やして年間8回作付けし、収量135ト、販売額8600万円と府内最大級の生産を誇る。今年は収量、年間145ト、販売額9300万円を計画する。

近くの府立農業大学校の卒業生を正社員として雇用し、若手の人材育成にも取り組む。学んできた農業技術を現場で実践し、経営のノウハウ

ウを同法人で身に付けてもらう。これまで4人が農業者として

独立、今も4人が働いている。「わが法人で技術と経営を学んで独立してくればよい」と四方さんは話す。さらに、近隣の主婦ら35人をパートタイマーとして受入れ、雇用創出に一役かっている。

四方さんは「まずは、みず菜で販売額1億円を目指す。そして、今年は無願寺甘とうやトマトのハウスでの試験栽培にも取り組み、規模拡大へのステップにしていきたい」と話す。

■法人所在地 綾部市位田町松前81、(電)0773(47)9610。

■法人概要 2007年10月設立。取締役4人、監査役2人。正社員9人、パートタイマー35人。生産面積2・1畝、パイプハウス58棟。主な農機はトラクター2台、播種(はしゅ)機4台、軽トラック4台。